

愛知県の取組について

あいち介護予防支援センターについて

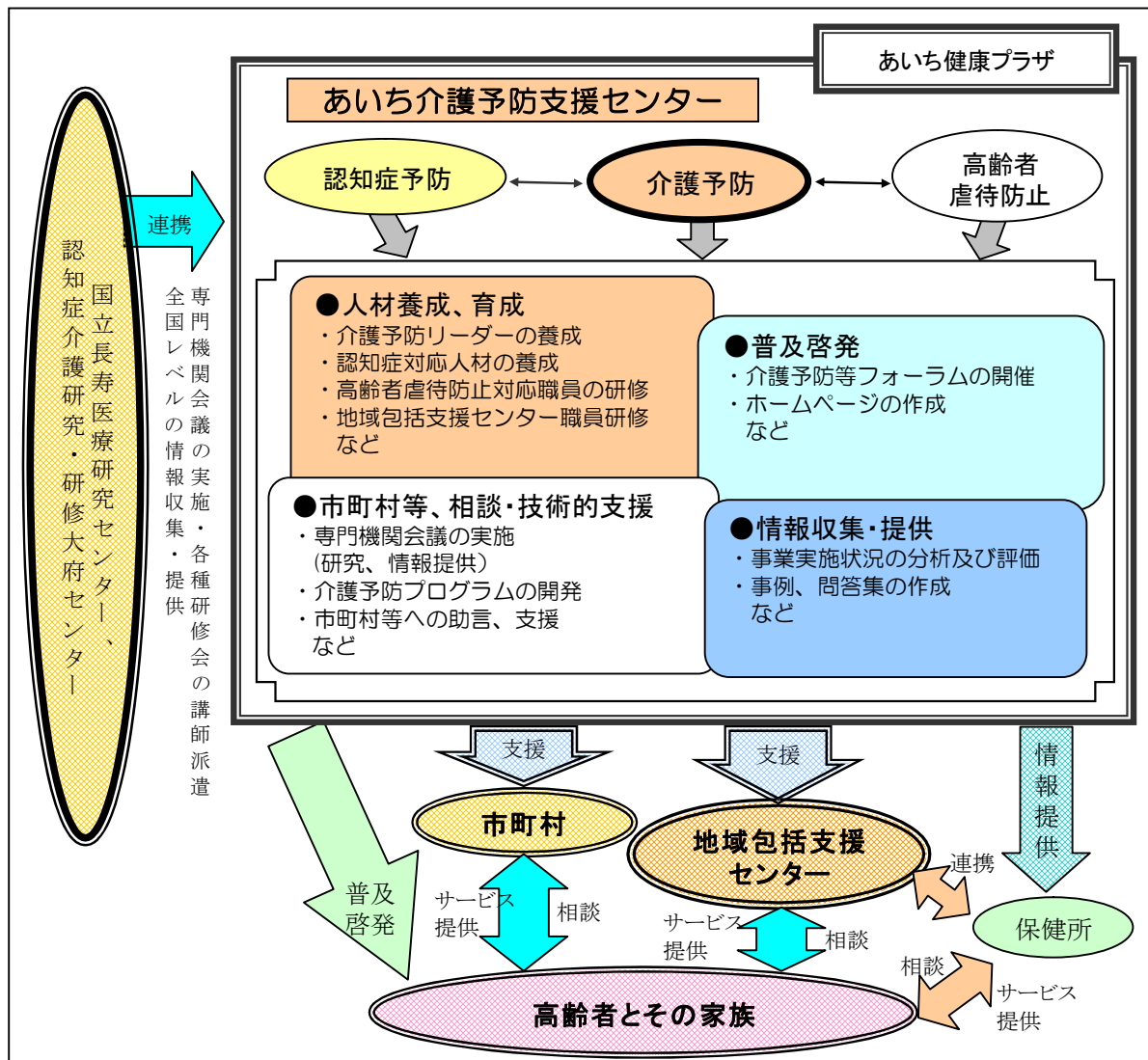
1 背景及び目的

- 本格的な超高齢化社会を迎え、概ね5年後には、本県において、65歳以上で介護を要する人は30万人を超えるものと推計され、介護予防等について早期に適切な対応が求められている。
- 介護予防等の事業の実施に当たり、実施主体の市町村から、専門的な知識・技術の普及啓発、他市町村の実効性のある実施方法を紹介する機関の設置についての要望があった。
- 介護予防等の事業を効果的に推進するため、市町村や事業実施で中心的な役割を担う地域包括支援センターを専門的な立場から支援することを目的に「あいち介護予防支援センター」を平成22年度からあいち健康プラザ内に設置した。

2 事業概要

- 運営方法

(財)愛知県健康づくり振興事業団への事業委託



	事業名	事業内容
人材養成、育成	介護予防リーダー養成	・愛知県健康づくり振興事業団で養成した「愛知県健康づくりリーダー」に、介護予防に関わる知識や技術の習得を付加し、地域における介護予防事業や介護予防活動を推進する「あいち介護予防リーダー」を養成する。(計画：22・23年度で400名養成) *養成研修は7月28・29日に開催、養成数 209名
	認知症対応人材養成	・市町村、地域包括支援センター職員等に対して、「地域の資源・人材のコーディネートを行い、地域支援体制の構築の役割が果たせる」よう、人材養成研修を行う。 *尾張地区8月30・31日、三河地区9月3・7日に研修会開催 受講者 218名
	高齢者虐待対応職員研修	・市町村・地域包括支援センター職員に対し、高齢者虐待防止、虐待への適切な対応・支援ができるよう人材養成研修を行う。 *尾張地区1月27日、三河地区1月24日に開催予定
	地域包括支援センター職員研修	・地域包括支援センター職員へ、経験年数に応じた資質向上を目的とした研修を行う。 *新任(基礎)研修：6月29・30日に開催、受講者 124名 *現任者研修は12月に開催予定。
市町村等、相談・技術支援	専門機関会議の開催	・介護予防、認知症予防、高齢者虐待予防に関する専門機関(国立長寿医療研究センター、認知症介護研究・研修大府センター等)、市町村高齢福祉関係機関、地域包括支援センター、民生委員及びNPO関係者と意見・情報交換を図る会議を開催し、その結果を介護予防支援センターの事業・活動へ反映させ、また、市町村への情報発信を行う。
	介護予防プログラムの開発	・市町村で実施されている運動器、口腔、栄養の介護予防事業について情報収集・分析を行い、地域で安全かつ効果的にできるプログラムの開発を行う。
	市町村等への助言・支援	・介護予防事業や認知症・高齢者虐待困難事例に関する相談を行う。
普及・啓発	介護予防フォーラム開催	・一般県民に向け、介護予防に関する情報発信を行う。 *介護予防フォーラムは9月19日(日)に開催 参加者 160名
	ホームページ開設	・センターの概要、役割、活動状況を紹介し、介護予防に係る情報発信を行う。
情報収集・提供	事業実施状況の分析及び評価	・専門機関会議、先進市町村、国・県実施調査等より、随時情報収集を行い、集積した情報を市町村へ発信していく。
	事例・問答集の作成	・認知症と高齢者虐待の事例対応や予防的な活動に係る事例・問答集を作成する。



あいち はぐみんフェスタ を開催します！

～みんなで広げよう はぐみんのWA～

本県では、毎月19日を「子育て応援の日（はぐみんデー）」と定め、社会全体で子育てを応援する機運を高めるための県民運動を展開しています。

また、7月9日に開催された「第3回愛知県少子化対策推進会議」において、毎年11月を「子育て応援の日（はぐみんデー）普及推進強化月間」と定め、本年度より実施していくこととしました。

本年度は次のとおり、「あいち はぐみんフェスタ」の開催など、様々な事業を実施して、社会全体で子育てを応援する機運を高めることとしています。

1 「あいち はぐみんフェスタ」開催！

元祖イクメン芸能人「パパイヤ鈴木」さんや、うたのお兄さん「恵畑ゆう」さんをお迎えした楽しいステージショーや、今回新たに作成するはぐみんの歌やはぐみんの着ぐるみのお披露目を行います（11月上旬に完成記者発表予定）。

また、お子様連れの楽しめる遊びのコーナーも用意してあります。
御家族そろってのご来場、お待ちしております！

《日時》

平成22年11月13日（土） 10時30分から16時まで

《場所》

「マツザカヤホール」（松坂屋名古屋店 南館8階）
名古屋市中区栄三丁目16番1号

《主催》

愛知県少子化対策推進会議構成団体

《主な内容》

- 10:30 オープニングセレモニー（はぐみんの歌、着ぐるみ披露）
- 11:15 恵畑ゆう の うたのステージ（1回目）
- 13:30 パパイヤ鈴木インタビュートーク
- 14:00 恵畑ゆう の うたのステージ（2回目）

《その他》

入場料無料

2 その他の普及啓発事業

(1) はぐみん電車走行！

子育て応援の日（はぐみんデー）のより一層の普及を目指し、名鉄、リニモ、地下鉄東山線・名城線に「はぐみん」のラッピング電車が走ります。

名鉄 主要線	平成 22 年 10 月～平成 23 年 3 月
リニモ	
地下鉄 東山線	平成 22 年 11 月～平成 23 年 1 月
// 名城線	



(2) はぐみんデーキャラバンの派遣

はぐみんの歌やはぐみんの着ぐるみを通じて子育て応援の日（はぐみんデー）により親しみを持っていただくため、12月から3月にかけてキャラバンを県内4ヶ所に派遣し、着ぐるみとともに歌や踊りを披露する啓発イベントを開催します（詳細は11月上旬に発表予定）。

(3) はぐみんデー啓発ポスターの掲示

子育て応援の日（はぐみんデー）の普及啓発を図るため県庁・地方機関、市区町村役場、子育て支援センター、保育所、幼稚園、子育て支援団体等にA2サイズのポスターを掲示します。

(4) 育19（いくいく）街頭キャンペーンの実施

子育て応援の日（はぐみんデー）を始め、「**育児**」・「**育休**」・「**教育**」・「**食育**」・「**健全育成**」をテーマとした関係5部局と子育て関係団体が合同で県民の皆様に子育て応援を呼びかけます。

◇平成22年11月19日（金） （詳細は11月上旬に発表予定）

地域生活定着支援センターの活動状況について

1 目的

高齢又は障害を有するため、福祉的な支援を必要とする矯正施設等からの退所予定者について、司法と福祉が連携して、矯正施設入所中から、帰住地において、入所者が退所後直ちに障害者手帳の発給、社会福祉施設への入所などの福祉サービスを利用できるよう準備を行い、本人の社会復帰を支援する。

2 実施主体

各都道府県に設置する予定で、平成22年10月1日現在33道府県に設置済み。都道府県その他、社会福祉法人、特定非営利活動法人などへの運営委託も可。

3 主な業務内容

① コーディネート業務

保護観察所からの依頼により、入所者等を対象として、福祉サービス等に係るニーズの内容の確認を行い、受け入れ先施設のあつせん、福祉サービスに係る申請支援を行う。

② フォローアップ業務

矯正施設から退所した後、社会福祉施設等を利用している方に関して、本人を受け入れた施設等に対して必要な助言を行う。

③ 相談支援業務

矯正施設から退所した本人又はその関係者からの相談に応じて、助言その他必要な支援を行う。

4 本県の状況

① 開所日

平成22年4月28日（全国で17番目）

② 実施主体

特定非営利活動法人くらし応援ネットワーク（理事長 岡部 昭子、法人所在地 名古屋市熱田区）に委託

③ 事務所所在地

名古屋市中川区露橋

④ 活動実績（平成22年9月30日現在）

区 分	開始件数	終了件数	支援継続中
コーディネート件数（特別調整）	30人	7人	23人
コーディネート件数（一般調整）	1人	1人	0人
フォローアップ件数	8人	3人	5人
相談支援件数	3人	2人	1人

特別調整＝帰住地のない退所者、一般調整＝帰住地のある退所者

地域生活定着支援センターについて

地域生活定着支援センターは、保護観察所と連携して次の2つの役割を果たす。

- ① 事前調整: 刑務所所在地において果たす役割
出所後に必要な福祉サービス等のニーズ把握、帰住予定地の地域生活定着支援センターとの事前調整を行う
- ② 受入調整: 帰住予定地において果たす役割
出所予定者の福祉サービス利用の受入先調整を行う

